

農地マッチングの物語を動画にしました！

公益財団法人なら担い手・農地サポートセンター(サポセン)は、農地を貸したい農家の皆さまから農地をお借りし、規模拡大などをしたい農家にお貸しする農地マッチング事業(農地中間管理事業)を行っています。



nara-ninanou.sakura.ne.jp/2024_pamphlet.pdf

サポセンと奈良県立大学がコラボし、農地マッチングの動画を作成しました

農地を借りたい人・貸したい人の物語 『地域を耕す』～人から人へと受け継がれる農地～

ショート動画

YouTube



<https://www.youtube.com/@nara.ninanou/shorts>

Instagram



<https://www.instagram.com/nara.ninanou/>

X (エックス)



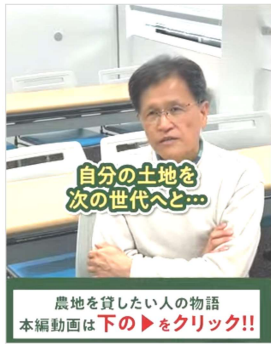
https://x.com/nara_ninanou

農地を借りたい 人の物語



<https://www.youtube.com/shorts/5yBp53OxfHc?feature=share>

農地を貸したい 人の物語



<https://www.youtube.com/shorts/PSDKpsba6gM?feature=share>

本編動画

YouTube



<https://youtu.be/1cg6ukLxOGI>



【動画のストーリー】

親から農業を引き継いだ青年(豆田)は、農業に対する意欲が持てず不安定な農業経営を続ける生活に甘んじていた。将来における村の農業のあり方などを話し合う「地域計画」協議の場では、「なら担い手・農地サポートセンター」の若手職員(佐藤)から規模拡大を勧められても反発するだけで動かない。しかし、佐藤が豆田に寄り添い熱心に関わるうちに、豆田の気持ちも徐々に変化し、「農業は自分の生活のためだけにするのではない、日本の食を支える働きがいのある仕事だ」と思うようになっていった。

一方、農地を耕作せず管理するだけの農地所有者(持田)は、「先祖代々の土地は他人には貸さない」とこどわって